

令和4年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・地歴（地理）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は6問6ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 地理歴史（地理）

1 次の（１）～（１０）の問いに答えよ。

- （１） 地中海沿岸に分布する土壌で、石灰岩が風化して生成した赤色の間帯土壌を何というか、記せ。
- （２） 明治時代に北海道の開拓や警備などを目的につくられ、格子状の地割りがみられる集落を何というか、記せ。
- （３） アメリカ合衆国で1970年以降、先端技術産業を中心に工場の進出が著しく、企業や人口の集中が見られる北緯37度以南の温暖な地域のことを何というか、記せ。
- （４） 589年に南朝の陳を滅ぼし中国を統一して、均田制・租調庸制などを施行し、科挙制を創設した人物は誰か、記せ。
- （５） 12世紀頃、北フランスから西欧に広がった、高い尖塔とステンドグラスの窓が特色の建築様式を何というか、記せ。
- （６） 1757年、イギリス東インド会社軍が、ベンガル太守およびフランス連合軍に勝利した戦いを何というか、記せ。
- （７） 645年6月、中大兄皇子・中臣鎌足らにより蘇我本宗家の蘇我蝦夷・入鹿父子が滅ぼされた政変を何というか、記せ。
- （８） 武田晴信（信玄）が1547年までに制定した分国法を何というか、記せ。
- （９） 1912年に『憲法講話』を刊行し、天皇機関説や政党内閣論をとらえた人物は誰か、記せ。
- （１０） 1968年に調印され、すでに核兵器を持っているアメリカ、ソ連、イギリス、フランス、中国以外の国の核保有を禁止した条約を何というか、記せ。

2 次の（１），（２）の問いに答えよ。ただし、それぞれ指定した字数で記せ。

- （１） 養殖業と比較して、栽培漁業の方法について、85字以内で説明せよ。
- （２） 日本におけるセメント工業の立地の特徴について、その工業の発達している都市名を例に挙げながら、80字以内で説明せよ。

3 次のA～Dの文章を読み，（1）～（6）の問いに答えよ。

A 海岸では，潮の干満・波・沿岸流などによって侵食・運搬・堆積作用がはたらくため，地形が変化する。起伏の大きい山地などが海面下に沈むことを（ア）とよぶ。高緯度地方には，氷河が形成した（イ）字谷に海水が浸入して，陸地に深く入り込んだ（ウ）と呼ばれる①入り江が発達している。

B 風は気圧が高いところから低いところに向かって吹く。例えば，亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）から低緯度に向かって東寄りの（エ）が吹く。極付近では，冷やされた空気により下降気流が発生して極高圧帯が形成され，ここから（オ）が吹き出す。この（オ）と亜熱帯高圧帯から高緯度に向かって吹く（カ）が衝突する緯度 60 度付近では，上昇気流が発生し，亜寒帯低圧帯となる。（エ）や（オ），（カ）などは恒常風と呼ばれる。また，②海流は海洋上を吹く風の影響を強く受け，北半球では時計回り，南半球では反時計回りに流れることが多い。

C 木材の用途には，③用材と薪炭材とがある。森林には，木材を供給する役割だけでなく，二酸化炭素の吸収と酸素の供給を行う役割，水資源の保全や土砂災害の防止などさまざまな機能がある。世界各地で，森林の大規模な消滅や劣化がみられるなか，こうした森林の多面的機能を持続的に発揮できるような④開発や保全のあり方を考えていく必要がある。


D 国土交通省国土地理院が発行する地図には，地形図や縮尺 20 万分の 1 の（キ），縮尺 50 万分の 1 の地方図などがある。国土地理院では，GIS の活用促進を目的として，これまでの 2 万 5 千分の 1 地形図にかわる新たな基本図としてデジタルデータをもとにした⑤電子国土基本図の整備を進めている。

(1) 文中の空欄（ア）～（キ）に適する語句を，それぞれ記せ。

(2) 文中の下線部①について，エルベ川やテムズ川河口付近に共通してみられる地形の名称と成因を，土地利用の特徴を含めて，説明せよ。

(3) 文中の下線部②に関して，海流とナミブ砂漠の関係性について，図を用いて説明するとした場合，どのように図示するか，次の条件を満たしながら記せ。また，ナミブ砂漠が形成される理由を，海流との関係性を含めて，説明せよ。

(条件)

- ・赤道（———）で示すこと
- ・大西洋の南半球のみに暖流（——→）と寒流（-----→）で示すこと
- ・大陸にナミブ砂漠の位置を  で示すこと

- (4) 文中の下線部③について、次の表 1 中のア～ウは 2008 年と 2018 年の中国、ニジェール、ノルウェーの木材伐採高の内訳を表している。ウに当てはまる国名を答え、そのように考えた理由を含めて、記せ。その際、「人口」という語句を必ず一度は使い、最初に使用した箇所に下線を付せ。

表 1

	用材 (千 m ³)		薪炭材 (千 m ³)	
	2008 年	2018 年	2008 年	2018 年
ア	95,819	180,237	196,031	162,919
イ	8,071	11,067	2,253	1,800
ウ	411	701	9,432	11,651

(「世界国勢図会 2020/2021」などにより作成)

- (5) 文中の下線部④に関して、熱帯林から用材として伐採する際、森林全体が伐採されることが多い。なぜ、熱帯林では森林全体が伐採されるのか、その理由を説明せよ。その際、「樹種」という語句を必ず一度は使い、最初に使用した箇所に下線を付せ。
- (6) 文中の下線部⑤について、次の図はある地域の昭和 22 年発行の地形図 (図 1) と同じ位置の現在の地理院地図 (図 2) である。図 1, 図 2 に示された地域の地形と土地利用の変化について、説明せよ。

図 1

図 2

※著作権法に基づき掲載は省略します

(「今昔マップ on the web」により作成)

4 次の（１）～（４）の問いに答えよ。

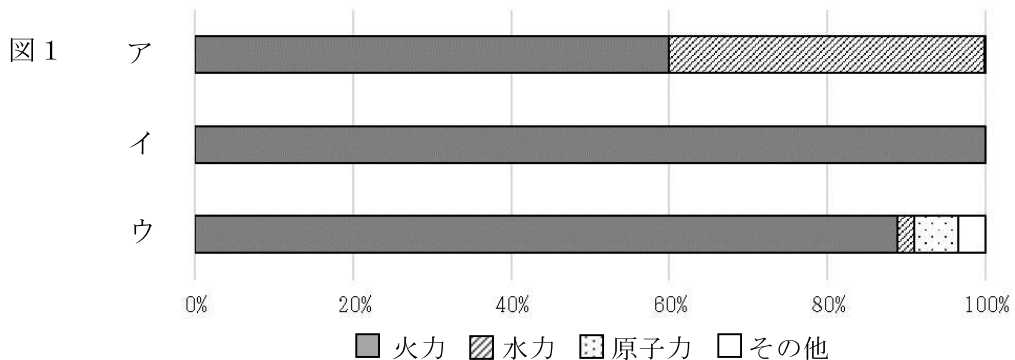
- （１） 次の表１は、アジア、アフリカ、オーストラリア、北アメリカのいずれかの大陸の高度別面積割合と平均高度を表している。ア～ウに当てはまる大陸名を、それぞれ記せ。

表１ 大陸の高度別面積割合（％）

高度（m）	アジア	ア	イ	ウ
200未満	24.6	39.3	29.9	9.7
200～500	20.2	41.6	30.7	38.9
500～1,000	25.9	16.9	12.0	28.2
1,000～2,000	18.0	2.2	16.6	19.5
2,000～3,000	5.2	0.0	9.1	2.7
平均高度（m）	960	340	720	750

（「データブックオブ・ザ・ワールド2021」により作成）

- （２） 次の図１中のア～ウは、ガーナ、南アフリカ共和国、リビアのいずれかの発電量（2017年）の内訳を表している。ア～ウに当てはまる国名を、それぞれ記せ。



（「データブックオブ・ザ・ワールド2021」により作成）

- （３） 次の表２中のア～ウは、エジプト、ザンビア、ナイジェリアのいずれかの国であり、その国で信仰されている主な宗教と人口に占める割合、公用語を表している。ア～ウに当てはまる国名を、それぞれ記せ。

表２

	ア	イ	ウ
宗教	イスラム教(84.4%) キリスト教(15.1%)	イスラム教(50.5%) キリスト教(48.2%)	キリスト教(82.4%) 伝統信仰(14.3%)
公用語	アラビア語	英語	英語

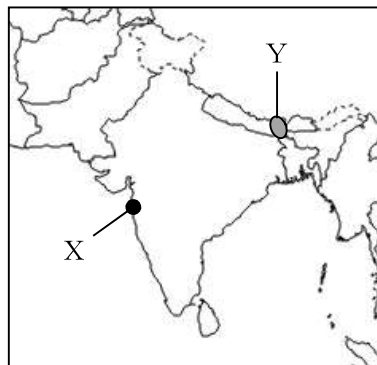
（「データブックオブ・ザ・ワールド2021」により作成）

- (4) アフリカでは、食料生産の増加が人口増加に追いつかず、食料不足が深刻である。アフリカの食料問題について、農業生産の課題とその対策を 125 字以内で説明せよ。その際、次の語句を必ず 1 度は使い、最初に使用した箇所に下線をを付け。

土地生産性 労働生産性 穀物

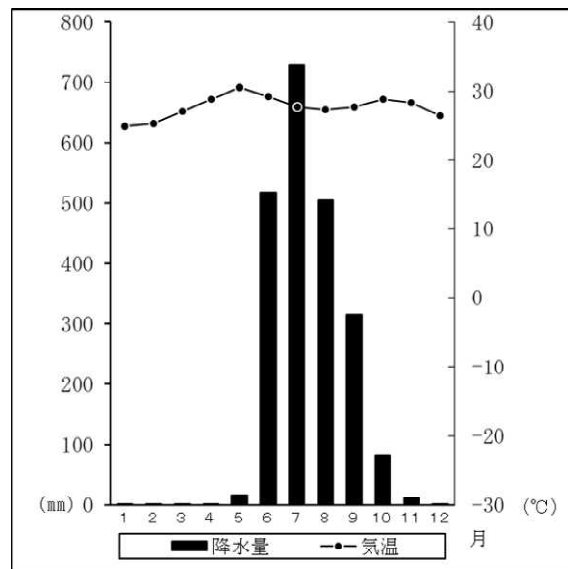
- 5 次の図 1 について、(1)，(2) の問いに答えよ。

図 1



- (1) 次の資料 1 は、図 1 中の X の都市の月平均気温と月別降水量を表したものである。X の都市が 6 月から 10 月にかけて降水量が多くなる理由を、65 字以内で説明せよ。

資料 1



(「理科年表 2021」により作成)

- (2) 図 1 中の Y の地域は、ある農作物の栽培がさかんな地域である。農作物の名称と、Y の地域がその農作物の栽培に適している自然条件を、説明せよ。

6

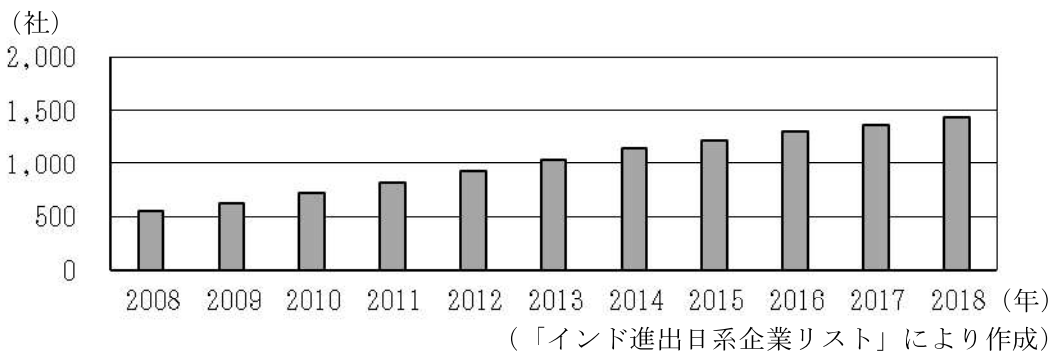
次の問いに答えよ。

高等学校学習指導要領（平成 30 年 7 月）地理歴史科の「地理探究」の「現代世界の諸地域」において、主題を「インドの工業の変容」とした場合、あなたならどのような学習指導を展開するか、問いを設定し、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための工夫を取り入れた学習指導の展開例を記せ。その際、次の資料 1～資料 4 の任意の資料を活用して学習指導を展開し、活用した資料も記せ。

資料 1 略年表

1947 年	インド連邦独立
1952 年	日本とインドの国交樹立
1991 年	インド政府が新経済政策を導入

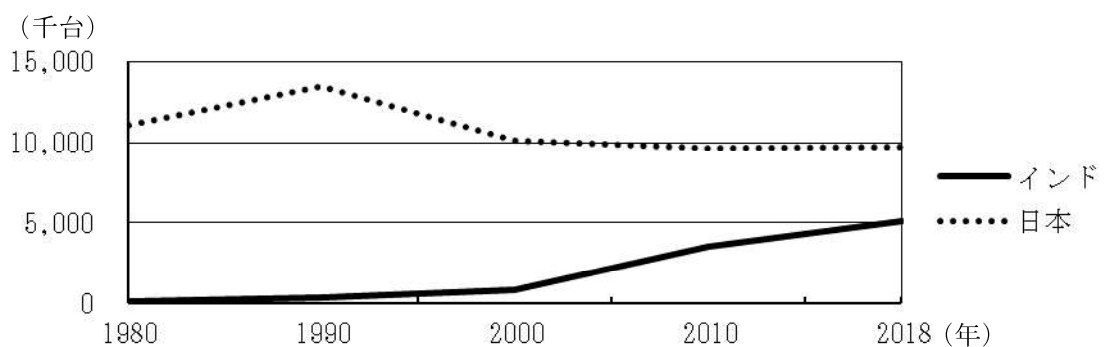
資料 2 インド進出日系企業数の推移



資料 3 インドの輸出と輸入の上位 5 品目の内訳 (%)

2008 年		2018 年	
輸出	輸入	輸出	輸入
石油製品 (17.9)	原油 (27.4)	石油製品 (14.9)	原油 (22.6)
機械類 (8.2)	機械類 (14.0)	機械類 (10.4)	機械類 (18.8)
ダイヤモンド (8.2)	金 (6.3)	ダイヤモンド (7.9)	金 (6.3)
鉄鋼 (6.2)	石油製品 (4.2)	繊維品 (5.6)	ダイヤモンド (5.2)
衣類 (6.0)	化学肥料 (3.9)	自動車 (5.4)	石炭 (5.2)

資料 4 日本とインドの自動車生産台数の推移



(資料 3・4 は、「世界国勢図会 2020/2021」などにより作成)